



Mega 1000
J604.64

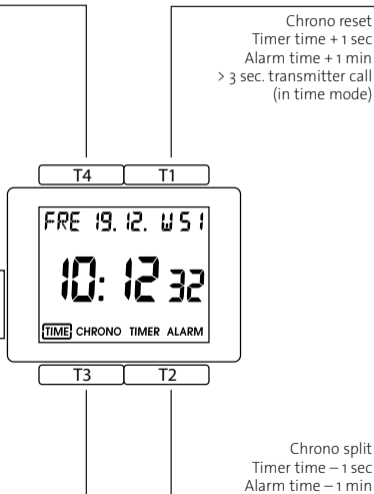
日本語

- Chrono start/stop
- Timer on/off
- Alarm on/off
- Time
 1. Time
 2. Time/day/date/year
 3. Time/day/date/
Calendar week
 4. Time/2. Time
 5. Time/
transmitter display/
Reception test

Chrono reset
Timer time + 1 sec
Alarm time + 1 min
> 3 sec. transmitter call
(in time mode)

Light
> 4 seconds
Key lock
(lock/unlock)

MODE
Time (1. Time)
Chrono
Timer
Alarm



Junghans社の時計をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。

Junghans時計はいつも特別な存在であり、長い時計製造やデザインの歴史を持っています。そして今でもその使命を沿革して取り込んでいます。1861年シュランベルクのブラックフォレストに成功した物語を始め、それぞれの新しいモデルは大成功となりました。各時計に現れた要素はJunghansが特別な存在であることを証明します：スタイル、情熱、革新的な精神または細部に至るまでの高精度。言い換えると：伝統技巧へ最新の時計技術と刺激的なデザインを組み合わせる。それは正真正銘のJunghansとなります。自分のスタイルで生きる人々への時計であり、当社はお持ち主としてのお客様に心からお祝いを申し上げます！

Uhrenfabrik Junghans GmbH & Co. KG

目次	ページ
1. 電波時計について	178
2. ご使用になる前に	180
3. 自動受信	181
4. 機能	182
4.1 時刻表示モード	182
4.2 追加機能	184
5. 機能と操作方法	185
5.1 ストップウォッチ (スプリット機能付)	185
5.2 カウントダウンタイマー	187
5.3 アラーム	188
6. 受信表示	190
7. 強制受信	190
8. 時差調整/12H-24H表示/ホームタイム	192
8.1 時差調整	192
8.2 12H-24H表示	194
8.3 ホームタイム	195
9. 言語選択 (曜日表示)	196
9.1 表示言語の切り替え	196
9.2 日付表示	197
10. デュアルタイム	198
11. リセット/初期設定	199
12. 手動時刻セット	200
13. バックライト	201
14. ボタンロック	201
15. コントラスト調整	202
16. 防水性能	203
17. 防水性について	204
18. 製品仕様	205

Mega1000 インストラクションマニュアル

重要：ディスプレイについて

時間同期の際に、ディスプレイ表示は自動的にオフになり同期作業中は時刻表示がされません。またバッテリー交換後の再始動時には、現検索中の発信局が点滅し信号制御時間(秒)が表示されます。詳細は3、7、11 をご覧下さい。

1. 電波時計について



ユングハンスMega1000 は、次の標準電波送信局からの電波信号を自動的に受信します。

DCF77 ヨーロッパ

WWVB 北アメリカ

JJY40 日本

JJY60 日本・韓国・台湾の一部

マインフリンゲン(フランクフルトの南東
24 キロ)

アメリカ合衆国コロラド州フォートコリンズ

福島県おおたかどや山

福岡、佐賀県境はがね山

ユングハンスMega1000 は、前記4ヶ所の標準電波送信所の受信範囲以内で、受信条件が良好であれば正確な時間を表示します。DCF77、WWVB、JJY40、JJY60の標準電波を毎日受信し、自動的に時刻を同期します。何らかの障害(雷雨、電子機器、照明の調光器等)によって電波受信ができなかった場合には、翌日の同時刻に自動受信を試みます。

より受信状態がよい場所での手動による強制受信も可能です。

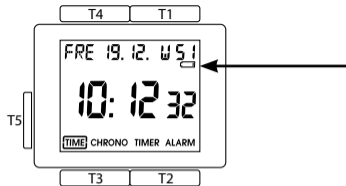
受信した最新の時刻情報は、内部メモリーに保存されます。

この時刻情報は高精度32kHz 振動のクォーツによって、次の同期時まで保たれます。

ユングハンスMega1000の自動時刻修正機能は、高精度の時刻表示だけでなく、正常な受信状態で、夜間にウィンタータイムからサマータイムへの切り替え(ヨーロッパ・北アメリカ、逆の切り替えも)も自動的に行います。

ユングハンスMega1000の時差修正機能は、時差のある地域への旅行の際に現地時間へのスムーズな切り替えを可能にします。

2. ご使用になる前に



時計を快適にお使いいただくために、常に電池残量にご注意下さい。

この時計には電池切れ予告機能があります。バッテリーのパワーが弱くなると（電池切れ、著しい低温下など）ディスプレイ上に電池切れ予告表示が現れます。もしバッテリーが回復しなければ（環境温度を上げるなどしても）、2~3 週間のうちにお買い上げ店かユングハンス・サービスセンターへ、電池工換をご依頼下さい。

使用電池：CR1620

平均電池寿命：約2年

お買い上げの時計にセットしてある電池はモニター用です。上記電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

ご使用済みの電池は適切に廃棄処理して下さい。

3. 自動受信

自動時刻同期夜間は設定された現地時間に従って自動時刻合わせが行われます：

EU圏 - ドイツ標準電波送信局「DCF 77」：2~3時

日本 - 福島局「JJY40」と九州局「JJY60」：2時ごろ

アメリカ - 米国標準電波送信局「WWVB」：2時ごろ

自動受信による時刻同期が開始されるとディスプレイは自動的に消灯します。時刻同期が終了するか（最大で14 分間）、手動で同期を中断するまではディスプレイが消えた状態が続きます。T1 ボタンを押すことにより、自動同期を中断することができます。同期中には、T2 からT5 ボタンのどれかを押しと現時刻を表示できます。このとき、現在時刻の時・分・秒ならびに曜日、日、月、年が表示されます。

標準電波送信局「WWVB」(米国) には以下の特記事項が適用されます：
ユンハンス Mega1000 は、送信局呼び出し後または再起動後に必ず太平洋標準時を読み込みます。夏時間と冬時間の切り替えが統一されていないため、また連邦州によってタイムゾーン設定が異なるため、夏時間と冬時間およびタイムゾーンの設定（8.1 章をご覧ください）を手動で行う必要がある場合があります。滞在場所に従って設定したタイムゾーンまたは夏/冬時間は、送信局呼び出しまたは自動同期化で維持されます。

日付も時刻信号により自動的に更新され、うるう年の2月29日にも対応しています。もし1日のうちに自動受信による同期が失敗した場合、受信表示の数字が1つずつ増えます。(6. 受信表示 をご参照下さい。)電波信号を受信できなかった場合、受信表示の数字は1日毎に1つずつ増えていきます。同期ができなかった間は、内臓の時刻メモリーによりクォーツ時計の精度で計時します。時刻情報を受信すると、直ちに自動的に時刻修正が行われます。

ご注意：より良い受信条件のために、夜間は時計をはずし、電気機器、携帯電話、コードレス電話の近くには置かないで下さい。

4. 機能

ユングハンスMega1000には、ディスプレイ上に表示される様々な機能があります。時計はディスプレイ上下と時計横の5つのボタンによって操作します。

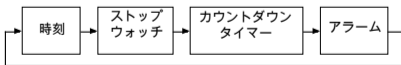
4.1 時刻表示モード

次の5通りの時刻表示モードがあります。

時刻表示モード時に、T1ボタン、T2ボタンを押しての時刻合わせはできません。

T3ボタン(時刻・ストップウォッチ・カウントダウンタイマー・アラームの切り換え)、

T4ボタン(時刻表示モード選択)のみが作動しますので、時計の設定が偶然変わることはありません。



時刻表示モード1 時刻



時刻表示モード2 時刻/曜日/日付/年



時刻表示モード3 時刻/曜日/日付/ カレンダーウィーク



時刻表示モード4 時刻/デュアルタイム



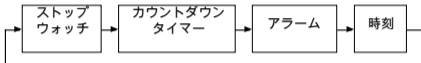
時刻表示モード5 時刻/送信局/受信回数表示



4.2 追加機能

T3 ボタンを押すと、以下の順に機能が切り替わります。

- スプリット機能付ストップウォッチ (クロノグラフ)
- カウントダウンタイマー
- アラーム
- 時刻表示



現在のモードは、緑取りで囲まれハイライト表示されます。モードが変わると、ディスプレイ下部の表示バーも移動します。ディスプレイ上部は、モードに対応した表示に変わります。

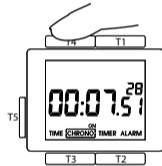
表示言語は、ドイツ語、フランス語、英語です。表示言語設定は、「9.1 表示言語の切り替え」をご覧ください。

5. 機能と操作方法

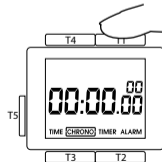
5.1 スプリット機能付ストップウォッチ (クロノグラフ)



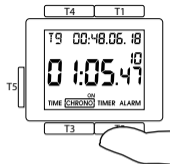
T3 ボタンを押して、CHRONO モードを選択します。ディスプレイに、時間、分、秒、10 分の1 秒、100 分の1 秒が表示されます。



T4 ボタンで、ストップウォッチをスタート、ストップします。ストップウォッチの計測中は、CHRONO モードの上に“on”の表示が現れます。



T1 ボタンを押すとカウンターは、00:00:00 00 にリセットされ、セーブされたスプリットタイムもすべて消去されます。ストップウォッチ計測中は、リセットできません。



ストップウォッチ計測中に、T2 ボタンを押すとディスプレイ上部にスプリットタイムが表示されます。T2 ボタンを押すたびに、新たなスプリットタイムを表示します。最新の10のスプリットタイムが常にセーブされます。スプリットタイムが表示されている間、ストップウォッチは計測を続けています。

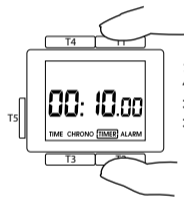


T4 ボタンでストップウォッチ停止後、T2 ボタンを押すごとにセーブしたスプリットタイムが表示されます。

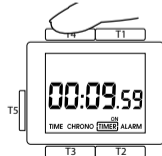
5.2 カウントダウンタイマー



T3 ボタンでTIMER モードを選択します。

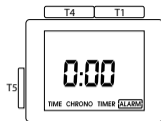


タイマーはT1 ボタン (+) とT2 ボタン (-) を使ってセットします。ボタンを短く押すと秒単位でセットできます。ボタン長押しで時間はすばやく変わります。



カウントダウンタイマーのスタート/ストップはT4 ボタンで行います。タイマーが作動中は、TIMER モードの上に、“on”の表示が現れます。カウントダウンタイマーが00:00:00になるとシグナル音が鳴ります。

5.3 アラーム



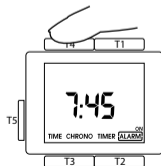
T3 ボタンでALARMモードを選択します。



アラームはT1 ボタン (+) とT2 ボタン (-) を使ってセットします。

ボタンを短く押すと分単位でセットできます。
ボタン長押しで時間はすばやく変わります。

アラーム時間がセットされると、アラームは自動的に作動開始し、“on”の表示が現れます。。



アラームの設定と解除はT4 ボタンで行います。
アラームが設定されると、ディスプレイのALARMモードの上に、“on”と表示されます。
アラーム設定時間になると、シグナル音が鳴ります。

ユングハンスMega1000 は、1 回限りのアラームと、毎日同じ時刻に鳴る24 時間アラームの2 種類を設定できます。
アラーム別のセット方法は次の通りです。



Mega1000 が、ALARMモードであることを確認してください。ディスプレイでモードを確認後、T1 ボタン (+) とT2 ボタン (-) を同時に押して、ディスプレイ上部にアラームモードを表示させます。T1 ボタンかT2 ボタンを押して、アラームモードを設定します。ディスプレイ上部の表示SET AL 24 が、毎日同時刻に鳴る24 時間アラーム、SET AL が1 回限りのアラームです。

アラームモード選択後に、T4 ボタンを押してアラーム時刻設定画面に戻してください。

アラームはどのボタンでも止めることができます。
偶然他の設定を消してしまわないように、T5 ボタンをお使いになることをお勧めします。
アラームがなった後にアラームは解除され、“on”の表示は消えます。
ふたたびアラームを鳴らす場合は、時刻設定後上記の設定を再度行ってください。

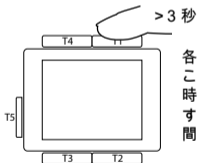
6. 受信表示

受信表示は、時計が電波送信局からの電波を受信し、時刻同期が行われたかどうかを表示します。

ディスプレイに5つの時刻表示モードのうち、どれかが表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、T3ボタンを押して時刻表示モードにしてください。T4ボタンを押して、受信表示画面を呼び出します。(時刻表示モード5:時刻/送信局/受信回数表示)受信回数表示が0を表示している場合、時計は前夜に正確に時刻同期を行っています。1~9の表示は、電波の受信状態が悪かったために時刻同期できなかった日数を表します。次回、電波を正常に受信すると受信回数は0に戻ります。



7. 強制受信 (送信局呼出し)



各時刻表示モードで、強制受信(送信局呼出し)を行うことができます。T1ボタンを3秒以上押してください。時刻同期が開始されるとディスプレイは自動的に消えます。ディスプレイは、同期が完全に完了する(最大14分間)もしくは手動で中断するまで消えます。

T1ボタンで、強制受信を中断することができます。T2からT5のどのボタンでも押し続けると、同期中に現時間を表示します。また、バックライトボタンT5を押すとバックライトの照明時間を表示します。現時間の時、分、秒のほか曜日、日付、月、年が表示されます。

受信の間は時計を安定した状態に保つか、腕から外してお置きください。

時計が時間情報を受信して約3~14分後に、送信局から受信した時刻を、前の設定モードで自動的に表示します。

ユングハンスMega1000は、まず前同期を行った送信局からの受信を試みます。受信できなかった場合は、他の送信局からの受信を試みます。受信を試みている送信局をディスプレイ上部左に表示します。時刻同期が成功すると、ディスプレイ上部右の受信表示は0にリセットされます。時刻同期が出来なかった場合、受信表示は変わらず、時刻同期が行われる前の時刻とモードに戻ります。

送信局から送られた標準時刻と異なるタイムゾーンを選択していた場合、手動で時刻を確認します。この場合、分、秒のみが修正されています。

前回受信した送信局と異なる送信局の電波を受信すると、現在選択しているタイムゾーンはそのまま分、秒のみが修正されます。

現在の現地時刻は、時差調整機能を使って設定してください。(8.1 時差調整をご覧ください。)

標準電波送信局とタイムゾーン

標準電波送信局	タイムゾーン
DCF77 (ヨーロッパ)	ヨーロッパ標準時・ ヨーロッパ標準夏時間
WWVB (北アメリカ)	太平洋標準時間
JJY40 (日本・福島局)	日本標準時間
JJY60 (日本・福島局)	日本標準時間

8. 時差調整/12H-24H表示/ホームタイム

8.1 時差調整

ユングハンスMega1000 は、DCF77、WWVB、JJY40 およびJJY60 の送信局の電波を受信します。ヨーロッパでは、確実に夏時間もしくは冬時間を表示します。時差のある地域に旅行される際には、現地時刻をデュアルタイムとしてディスプレイ上部に表示設定(10. デュアルタイム参照)もしくは、現地時刻をメイン時刻表示に設定することが出来ます。



T4ボタンを押して、時刻(時刻表示モード1)を選択します。

ディスプレイは時刻表示になります。

T4 ボタンで時差調整を行います。時差が調整されると、メイン表示の時刻が現タイムゾーンの時刻に変わります。T4 ボタンを3秒以上押してください。



ディスプレイ上部に"1.TIME" が表示されます。時間の数字が点滅し、T1 ボタン(+)とT2 ボタン(-)で時間を調整します。日付は必要に応じて同時に変更されます。

メインの時刻表示をホームタイム(自国のタイムゾーン・8.3 ホームタイム参照)にリセットするには、5つの時刻表示モードのどれかの画面にしてT2 ボタンを3秒以上押します。

メイン表示の時刻は選択したホームタイムになります。

手動でホームタイムにならない場合は、最後に同期した送信局のタイムゾーンの時刻が表示されます。

8.2 12H-24H表示



タイムゾーン設定時にT4 ボタンを押します。12 時間表示 (am/pm) と24 時間表示が選択できます。



ディスプレイ上部に選択した表示モードが表れます。T1 ボタン (+) とT2 ボタン (-) で変更できます。

8.3 ホームタイム



12 時間表示 (am/pm) が24 時間表示を選択した後、T4 ボタンを押してホームタイム設定を行ってください。



ホームタイム設定をすることにより、最もお過ごしになるタイムゾーンをホームタイムに設定出来ます。T1 ボタン (+) とT2 ボタン (-) で時刻合わせも出来ます。

通常の表示モードに戻すには、T4 ボタンを押してください。

T2ボタンを3秒以上押すことで、いつでも設定された現地時刻を呼び出すことができます。

9. 言語選択 (曜日表示)

ユングハンスMega1000 の曜日表示は、工場出荷時にはドイツ語に設定されています。時刻表示モード2、3 の曜日表示は、英語もしくはフランス語に変更できます。

9.1 表示言語の切り替え



曜日表示を別の言語に変更するには、T4 ボタンで時刻/日付モード (時刻表示モード2、3) を選びます。T4 ボタンを3 秒以上押して言語を切り替えます。

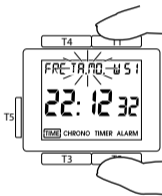


ディスプレイ上部左のアルファベットが点滅、言語を表示します。(D:ドイツ語、F:フランス語、E:英語) T1 ボタン (+) と T2 ボタン (-) で変更できます。

9.2 日付表示



日付は、日・月もしくは月・日で表示されます。T4 ボタンで表示順を選んでください。



日付表示がディスプレイ上部で点滅します。
日・月/TA.MO 月・日/MO.TA ドイツ語
日・月/DA.MO 月・日/MO.DA 英語
日・月/JO.MO 月・日/MO.JO フランス語
T1 ボタン (+) と T2 ボタン (-) でも変更可能です。

通常の時刻表示モードに戻すには、T4 ボタンを押してください。

10. デュアルタイム

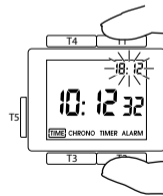
デュアルタイム機能は、海外へ旅行中に自国の時間を調べたい時などに、メインの時刻表示とは別にディスプレイに時刻を表示します。

5 つの時刻表示モードのうちどれかが、ディスプレイ上に表示されていることを確認してください。時刻表示モードで無い場合は、T3 ボタンで時刻表示モードに変更します。



T4 ボタンを押して、ディスプレイ上部右にデュアルタイムを表示します。

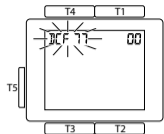
T4 ボタンを3 秒以上押してください。



デュアルタイム表示が点滅します。T1 ボタン (+) と T2 ボタン (-) を押して、15 分おきに時刻合わせが出来ます。

3 秒以上T4 ボタンを押して、通常の表示に戻してください。

11. リセット/初期設定



電池交換後、自動的にリセット開始します。電池を入れるとディスプレイ上部左の探索中の送信局表示が点滅、上部右に信号制御時間(秒)が表示されます。同期中は他の表示は行われず、受信後に時計はスタートします。電波の受信に成功すると、数分後に受信した発信局のタイムゾーンの正確な時間に、自動的にセットされます。

DCF77 の電波を良好に受信すると、ドイツ標準時間を表示します。

送信局表示はDCF77 を示し、曜日がドイツ語で表示されます。

日付は日、月の順に表示され、時刻は24 時間制で表示されます。

WWVB の電波を良好に受信すると、太平洋標準時間を表示します。

送信局表示はWWVB を示し、曜日が英語で表示されます。

日付は日、月の順に表示され、時刻は12 時間制で表示されます。

JJY40、JJY60 の電波を良好に受信すると、日本標準時間を表示します。

送信局表示はJJY40 またはJJY60 を示し、曜日が英語で表示されます。

日付は日、月の順に表示され、時刻は12 時間制で表示されます。

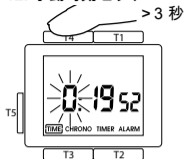


時計が長時間電波を正しく受信できない場合、節電のため受信は中止されますが、6 時間ごとに自動受信を試みます。ディスプレイ上部左の送信局表示には"---"が表示され、上部右の受信回数表示は"1"が表示されます。ディスプレイに表示の時刻は、同期されていない時刻です。

電波を受信するまでの間、現時刻は手動で合わせます。(手動時刻セット)時計は通常のクォーツ時計として動きます。

自動受信中に時刻セットモードにすると、自動受信は中止されます。

12. 手動時刻セット

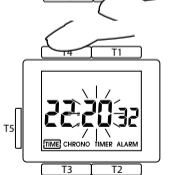


電池交換後、電波を正しく受信できない場合、手動で時刻をセットすることが出来ます。手動時刻セットするには、T4 ボタンを押して自動受信を中止します。再度T4 ボタンを3 秒以上押し、手動時刻セットモードになります。

手動時刻セットモードでは、ディスプレイ上で点滅する、時・分・秒・am/pm 表示・言語・曜日・時刻表示モード・年・月・日を、順番にそれぞれ合わせる必要があります。



時間が点滅している間、T1 ボタン (+) と T2 ボタン (-) を使って正しい時間に合わせます。合わせます。

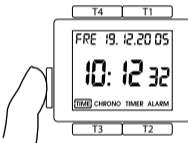


時間設定後、T1 ボタン (+) と T2 ボタン (-) を使って分を合わせます。再び T4 ボタンを押して秒表示を選択し、T1 ボタンか T2 ボタンを押すと、秒表示が 0 に戻ります。

時報や他の時計等で、時間を合わせてください。次の設定に移るには、T4 ボタンを押してください。前と同じ要領で数値を合わせます。全ての設定を合わせた後、T4 ボタンを押して確定してください。ディスプレイは時刻表示モードに戻ります。

13. バックライト

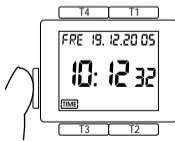
ユングハンスMega1000 には、ディスプレイライト機能があります。T5 ボタンを押すと4秒間点灯します。4 秒後にライトは消灯します。これは偶然点灯した場合の電池の消耗を避けるためです。



T5 ボタンを押すと、再びライトが点灯します。

14. ボタンロック

偶然によるディスプレイの設定変更を防ぐため、Mega1000 にはボタンロック機能があります。どの時刻表示モードでもボタンロックは可能です。(4.1 時刻表示モードをご覧ください。) ボタンロックの設定と解除の方法は次の通りです。



T5 ボタンを4 秒以上押します。CHRONO、TIMER、ALARMの表示がディスプレイ下部から消えます。これでボタンロックが設定されました。

設定を解除するには、同様にT5 ボタンを4 秒以上押してください。



ボタンロック中にボタンが押されると、ディスプレイに"Lo"の表示が現れます。

15. コントラスト調整

ディスプレイの表示を鮮明にするために、Mega1000 は手動でディスプレイのコントラストを調整できます。コントラスト調整を行うには次の手順で行ってください。5 つの時刻表示モードのうち、どれかが表示されていることを確認してください。違う場合は、T3 ボタンで時刻表示モードにします。T1 ボタンとT2 ボタンを同時に8 秒以上押してください。"CON2"という表示がディスプレイに現れますので、T1 ボタン(+)とT2 ボタン(-)を使ってコントラストを調整します。コントラストを最大にするには、T1 ボタンを"CON15"になるまで押してください。コントラストを最小にするには、T2 ボタンを"CON 0"になるまで押してください。お望みのコントラストになりましたら、T4 ボタンを押して通常の表示に戻してください。

注：高い値に調整すると、それに応じて消費電力も大きくなります。

16. 防水性

表示名	使用例				
	 手洗い 雨 水しぶき	 シャワー	 入浴	 水泳	 呼吸装置を使わず に潜る (スノーケリング)
表示名ナシ	不可	不可	不可	不可	不可
3 BAR	可	不可	不可	不可	不可
5 BAR	可	可	可	不可	不可
10 BAR	可	可	可	可	不可
20 BAR	可	可	可	可	可
30 BAR	可	可	可	可	可

DIN (ドイツ規格協会) の防水性規格は構造に関する目印の一つですが、衝撃や温度変化、紫外線などの外的要因からも、化粧品や洗剤(油脂や酸)に触れることによっても影響を受けることがあります。したがって「3-30気圧防水」の状態は新品の時計にだけ当てはまることに注意してください。腕時計は定期的に点検してもらうことを推奨します。

17. 一般的なご注意

防水性能可能会受外部因素影响，湿气从而受外部影响渗入腕表中。因此建议您委托 Junghans 专家定期检查您的腕表。各项服务以及表带的维修工作，也应由经授权的 Junghans 维修站进行。

请勿将腕表直接接触含酒精的香水、消毒剂以及各类化学清洁剂（如汽油或油漆稀释剂），这样的接触会缩短玻璃、密封件以及皮质表带的寿命。

您的手表配置有本公司内部检查的优质表带。如需更换表带，请选择同等质量的表带，最好选用原装表带。可使用干燥或略湿润的毛巾清洁腕表及皮质表带。最好使用小刷子和肥皂水清洁金属表带。

18. 製品仕様

良好な受信状態での時刻同期所要時間	約 3~14 分
タイムゾーン調整範囲	+ 12 時間、- 12 時間
ヨーロッパ標準時から夏時間への変更（その逆も）	自動
自動受信の時刻	午前2時と午前3時 （協定世界時）
作動温度	0°C ~ 50°C

仕様は予告なく変更される場合があります。

適合宣言

時計工房ユンハンス有限合資会社 (Uhrenfabrik Junghans GmbH & Co. KG) は、本腕時計がR&TTE2014/53/EU指令の基本的要件およびその他の関連規定に適合していることをここに宣言いたします。

当適合宣言書は、info@junghans.de 宛てにご請求いただけます。